

私の経験した中国・武漢大学での1年間

総合科学部人間社会学科4年次生 よし だ まさ ふみ
吉 田 雅 史

留学生生活は人との交流

最初は中国での慣れない生活の上、授業についていくのが精一杯な日々を過ごしていたように思います。しかし、そうした生活にも徐々に慣れ、友達ができくるにつれ留学生活のリズムもつかめるようになりました。留学生活をおくる上で心がけなければいけないのは、「日本の常識」を持ち込まないということだと思います。「日本の常識」が簡単に通用するものではないし、しばしばトラブルの原因ともなります。違う環境、異文化の中に身を置いている自分を素直に受けとめ、現地の人や学生と交流したり、勉強に取り組むことが留学生活だと思えます。



新入生軍事教練

積極的に外に出よう

私の場合は1年間という限られた留学期間でした。正直この期間での語学修得には限界があると思います。試験の勉強だけをしていても日常会話ができるようになるわけではなく、実際に試験の結果と日常会話の習熟度は必ずしも比例するものではないというのも事実だと思います。しかし、逆に言えば留学期間の中で自分に出来る可能性はいくらでもあるといえます。大学での授業以外も全てが学習機会なのです。そのためには、授業や試験で習ったことを積極的に外に出て実践するという積極性が一番大事だと思います。そして、友達を作るなど、そういった場を自ら探していくことも重要です。



学生食堂

留学して得たこと

私は、日本語学習の教室に通ったり、留学生のサッカーチームに参加したり、日本人の仲間と一緒に中国語を学んだり、中国人との交流の輪を広げ、そこでできた友達と個人的に飲みに行ったり遊んだりしました。机上の勉強の上に更にこうした、いわば遊びの感覚も必要ではないかと思えます。

留学中は、研究や勉強が思うようにならなかったりと様々なジレンマや挫折もありました。しかし、その一つひとつの体験やそこで出会ったいろいろな人との交流が私にとって貴重な財産であり、また留学の成果であると思います。



体育館